

## Gard Alert

# ポートステートが密閉区画を検査重点項目に

こちらは、英文記事「[Port state focus on enclosed space entry](#)」（2015年6月9日付）の和訳です。

パリ MoU および東京 MoU は、2015年9月1日から11月30日まで、密閉区画への立入に対する船員の習熟度について集中検査キャンペーン（以下、「CIC (Concentrated inspection campaign)」といいます）を行います。



船内の密閉区画での事故は、以前から深刻な負傷や死亡の原因となっており、IMOによると、問題は指導の不足ではなく、所定の手順を踏むことを怠ることにあります。これを踏まえ、密閉区画への立入と救助演習の実施が2015年1月に義務化され（SOLAS条約第III章第19規則）、このテーマが、パリMoUおよび東京MoUによる今年の共同CICの重点項目となる見込みです。<sup>1</sup> さらに、インド洋MoUも密閉区画への立入に対する船員の習熟度に関してCICを行う意図があることを表明し、他のMoUも参加する可能性があるとの情報を得ております。

密閉区画への立入と救助の演習に関する SOLAS 条約の要求事項の詳細と、その実施に際しての Gard の推奨事項については、2014年12月18日付の Gard Alert 「[密閉区画への立入訓練](#)」を参照してください。

両MoUは、ウェブページ<sup>2</sup>上でチェックリストを公開すると思われますので、キャンペーンが始まる前にCICの基準を熟知しておくようにしてください。ただし、CICに備えることの本来の目的は、問題が発見されないようにすることではなく、船上活動の安全性を高めることです。その趣旨をご理解いただけるようお願いいたします。

手順書の見直しを行い、全員に密閉区画に立ち入る際のルールを周知させるようにしてください。事故の防止には、関係者全員が、密閉区画への立入に伴う危険性を認識し、評価し、コントロールできるように訓練を受けていることが最も重要です。

Gard は、安全ミーティングで活用いただけるように、リスク評価プロセス、事故原因となった過失の特定を中心に取り上げた Case Studies を定期的に発行しています。Gard では、2014年12月に、Case Study 「[Entry into enclosed space](#)（密閉区画への立入）（英文）」を発行しましたので、訓練の中では是非ご活用ください。各事例の比較・分析など、オフィサーとクルー間のディスカッションにお役立てください。

<sup>1</sup> CIC では、主に PSC オフィサーが頻繁に発見する問題や新たに条約上の要求事項として発効したものが対象とされます。キャンペーンは、通常3か月（9月～11月）の期間にわたって通常検査と併せて実施されます。

<sup>2</sup> <http://www.parismou.org> または [www.tokyo-mou.org](http://www.tokyo-mou.org)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。